

衛星データによる 「ずっと、400年」の先へ続く醤油原料の地産化

実証プロジェクト分野 (あてはまるものに○)

○農林水産業、自動運転、環境、防災、インフラ維持管理、交通、物流、金融・保険、スポーツ、国土強靱化、○その他(食品製造業)

サービス利用者名 **ヒガシマル醤油株式会社
株式会社高田商店**

サービス提供者名 **株式会社アグリライト研究所
一般財団法人リモート・センシング技術センター
地方独立行政法人山口県産業技術センター**

プロジェクト概要

創業400年のヒガシマル醤油では、原料(米、小麦、大豆)の国産化や生産の省力化など「2050年問題」に対するリスク回避に長年取り組んできている中、昨今のウクライナ情勢により、原料確保に関するリスク回避の早期実現が必要と考えている。本実証では、過去の衛星データ等と、これまでヒガシマル醤油が蓄積してきたデータと知見を活かし、適切な栽培・省力化情報を現場に提供し、醤油原料の地産化を実現するための実証を行う。

現状・課題

○ヒガシマル醤油・高田商店の取組

「2050年問題への対応」

- ・小麦の国産化と地元生産者との契約栽培



- ・2年3作(米・小麦・大豆)輪作体系の取組



産地全体での高品質・高収量・省力化の実践

- ・パンデミックによる物流コスト高騰
- ・ウクライナ情勢による食品原料コスト上昇と供給の不安定化

更なる産地の育成・拡大(瀬戸内地域)

小麦1,500ha(現状の約6倍)
大豆3,000ha(現状の約16倍)

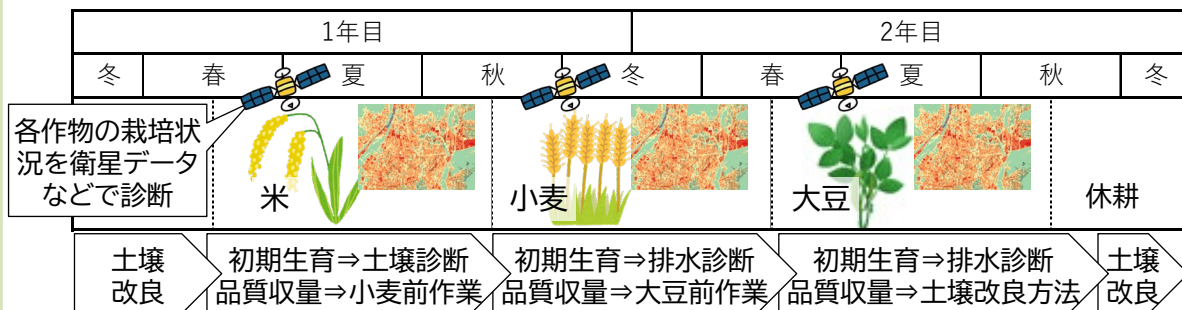
実証内容

新しい産地で2年3作輪作体系による品質収量の安定と生産性の向上を早期に実現するための、衛星データの持つ「継続性」、「広域性」、「定期性」を有効利用した産地育成支援

1. 作物の生育状況から土壌改良の進展や排水性の良否を評価
2. 輪作体系の中で前作の栽培結果を次作に活かす一気通貫した栽培・省力化情報提供

衛星データによる2年3作輪作体系での生産性向上を実現する情報連携の仕組み

2年3作輪作体系での前作と後作の関連を評価。畑作物の初期生育から土壌の排水性を把握、品質収量から次の栽培に必要な作業を絞り込み、省力化情報を提供、生産性を高めるシステムを構築。



- ・輪作の繰り返しによる土壌改良の進展
- ・土壌の排水性の向上で農作業省力化と収量品質安定
- ・生産性の向上で生産者を含む醤油醸造事業の継続性が向上

醤油原料の米、小麦、大豆の地産化と高品質安定供給を支援
伝統の醤油醸造産業を「おいしさをずっと、400年」の先へ続ける